

令和7年度 事後評価シート

【事務事業シート】

当初	事 項	南予家畜保健衛生所解体工事費								予算主管課		畜産課	
	事 業 概 要	南予家畜保健衛生所（八幡浜市）及び宇和島支所に係る旧庁舎等の解体のほか、動物用焼却炉の撤去及び解体建物の登記、跡地の測量を行う。								始期		2022	
										終期		2025	
	K P I	南予家畜保健衛生所及び宇和島支所解体工事進捗率											
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
		R 4 年 度		目標値	37 %		目標値	89.6 %		目標値	100 %		
		実績値	13.6 %		実績値	30.8 %		実績値	88.2 %		実績値	91.6 %	
		ストック /フロー	ストック		達成率	83.24 %		達成率	98.4 %		達成率	91.6 %	
		コ ス ト		最終現計 予算額	229546 千円		最終現計 予算額	539584 千円		最終現計 予算額	127904 千円		
				決算額	229278 千円		決算額	533296 千円		決算額	36789 千円		
						繰越額	91087 千円		繰越額	千円			
							不用額	28 千円		不用額	千円		
	7 年 度	要因分析	要因 焼却炉解体において発生する廃棄物の処理に不測の日数を要し、事業の一部を翌年度に繰り越したため、未達成となった。「※終期延長R7→R8 R8目標値100%」										
総括													
見直し方向性		維持	2026年度には旧施設（南予家畜保健衛生所、同宇和島支所）の解体が完了する計画である。										

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	東予家畜保健衛生所今治支所解体工事費								予算主管課		畜産課				
	事 業 概 要	東予家畜保健衛生所今治支所の旧庁舎等の解体、動物用焼却炉の撤去及び解体建物の登記を行う。								始期		2024				
										終期		2025				
	K P I	東予家畜保健衛生所今治支所解体工事進捗率														
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
		R 4 年 度		目標値	%		目標値	18 %		目標値	100 %		目標値	%		
		実績値	%		実績値	%		実績値	14 %		実績値	30.1 %		実績値	%	
		ストック /フロー	ストック		達成率	%		達成率	77.8 %		達成率	30.1 %		達成率	%	
		コ ス ト			最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	5751 千円		最終現計 予算額	25795 千円		最終現計 予算額	千円	
					決算額	千円		決算額	4363 千円		決算額	4819 千円		決算額	千円	
							繰越額	20972 千円		繰越額	千円					
							不用額	4 千円		不用額	千円					
7 年 度	要因分析	要因 焼却炉解体において発生する廃棄物の処理に不測の日数を要し、事業の一部を翌年度に繰り越したため、未達成となった。「※終期延長R7→R8 R8目標値100%」														
		総括														
	見直し方向性	維持	2026年度には旧施設（東予家畜保健衛生所今治支所）の解体が完了する計画である。													

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	獣医師確保対策事業費								予算主管課	畜産課
	事 業 概 要	本県の獣医師職員確保のため、獣医系大学生に修学資金の給付を行うほか、大学等訪問による制度周知やインターンシップ受入を通じて、業務の重要性について理解を醸成する。								始期	2011
										終期	
	K P I	農林水産部局獣医師新卒採用数									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	4 人	目標値	5 人	目標値	5 人	目標値	5 人
		実績値	人	実績値	2 人	実績値	3 人	実績値	6 人	実績値	人
		ストック /フロー	ストック	達成率	50 %	達成率	60 %	達成率	120 %	達成率	%
		コ ス ト		最終現計 予算額	9271 千円	最終現計 予算額	11744 千円	最終現計 予算額	10915 千円	最終現計 予算額	千円
				決算額	6930 千円	決算額	8783 千円	決算額	7299 千円	決算額	千円
								繰越額	千円	繰越額	千円
					不用額	3616 千円	不用額	千円			
7 年 度	要因分析	要因									
		総括									
	見直し方向性	維持	獣医師確保修学資金給付者の入庁が農林水産部局新卒獣医師の確保につながった。 今後もインターンシップ助成や獣医師確保修学資金を継続し、安定した農林水産部局新卒獣医師の確保に努める。								

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	家畜防疫総合対策事業費								予算主管課		畜産課			
	事 業 概 要	豚熱ワクチンの接種をはじめとする家畜伝染病発生予防対策の推進や、家畜伝染病の発生に備えた危機管理体制の整備、地域獣医療体制の整備等を総合的に実施し、本県の家畜防疫対策の充実・強化を図る。								始期		1950			
										終期					
	K P I	監視伝染病発生件数													
		KPI種別	下がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度				
		R 4 年 度		目標値	40 件		目標値	40 件		目標値	40 件				
		実績値	22 件		実績値	25 件		実績値	22 件		実績値	件			
		ストック /フロー	フロー		達成率	160 %		達成率	181.8 %		達成率	222.2 %			
		コ ス ト		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	123712 千円		最終現計 予算額	134391 千円		最終現計 予算額	千円	
				決算額	千円		決算額	96786 千円		決算額	109175 千円		決算額	千円	
								繰越額	千円		繰越額	千円			
					不用額	25216 千円		不用額	千円						
7 年 度	要因分析	要因													
		総括													
	見直し方向性	維持	本事業の適切な実施により、県内の監視伝染病の発生を減少し、引き続き現状の体制で達成率100%を維持することでKGIに寄与する												

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初,12 月補正	事 項	家畜衛生施設整備事業費							予算主管課	畜産課	
	事 業 概 要	家畜防疫体制の強化を図るため、鳥インフルエンザや豚熱及びアフリカ豚熱等に係るPCR検査の前処理時等に必要な機器を整備する。							始期	2019	
									終期	2026	
	K P I	検査機器整備進捗率									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	100 %	目標値	%	目標値	100 %	目標値	100 %
		実績値	100 %	実績値	100 %	実績値	%	実績値	100 %	実績値	%
		ストック /フロー	フロー	達成率	%	達成率	%	達成率	100 %	達成率	%
		コ ス ト		最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	4473 千円	最終現計 予算額	千円
	決算額			千円	決算額	千円	決算額	3922 千円	決算額	千円	
					繰越額	千円	繰越額	千円			
					不用額	551 千円	不用額	千円			

7 年 度	要因分析	要因								
		総括								
	見直し方向性	維持	R7年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、引き続き、KPIは目標達成すると考えられることから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。							

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	獣医学術四国地区学会負担金						予算主管課		畜産課		
	事 業 概 要	令和7年度獣医学術四国地区学会の開催に要する負担金						始期		1970		
								終期				
	K P I	負担金の支払完了率										
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値		目標値		目標値	100	目標値		
		実績値		実績値		実績値		実績値	100	実績値		
		ストック /フロー	フロー	達成率	%	達成率	%	達成率	100 %	達成率	%	
		コ ス ト		最終現計	千円	最終現計	千円	最終現計	400 千円	最終現計	千円	
				予算額		予算額		予算額		予算額		
	決算額			千円	決算額	千円	決算額	400 千円	決算額	千円		
					繰越額	千円	繰越額	千円				
				不用額	千円	不用額	千円					

7 年 度	要因分析	要因								
		総括 畜産、公衆衛生及び小動物診療に携わる獣医師の調査研究の発表及び討議を行う獣医学術四国地区学会（日本産業動物獣医学会、日本獣医公衆衛生学会、日本小動物獣医学会）の開催経費に活用され、畜産、公衆衛生の発展に資することができた。次回本県での開催は2029年度となる。								
	見直し方向性									

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

12月 補正	事 項	家畜自衛防疫対策支援事業費							予算主管課	畜産課	
	事 業 概 要	畜産農家は生産コストの上昇により厳しい経営環境にある中、常に家畜伝染病の発生リスクにさらされていることから、農家の負担を軽減し衛生対策を強化するため、自衛防疫対策に要する資機材経費の一部を補助する。							始期	2024	
									終期	2025	
	K P I	家畜伝染病の発生件数									
		KPI種別	下がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	0 件	目標値	0 件	目標値	件	目標値	件
		実績値	0 件	実績値	0 件	実績値	0 件	実績値	0 件	実績値	件
		ストック /フロー	フロー	達成率	0 %	達成率	0 %	達成率	100 %	達成率	%
		コ ス ト		最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	51944 千円	最終現計 予算額	千円
	決算額			千円	決算額	千円	決算額	48929 千円	決算額	千円	
					繰越額	千円	繰越額	千円			
					不用額	3015 千円	不用額	千円			

7 年 度	要因分析	要因								
		総括 畜産農家自らが実施する自衛防疫対策に要する資機材経費の一部を支援することで、厳しい経営環境下でも衛生対策の強化につながり、KGI実績値の向上に好影響を与えることができた。令和8年度以降は自衛防疫の継続指導をはじめ各種防疫対策による発生予防に取り組む。								
	見直し方向性									

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

12月 専決	事 項	高病原性鳥インフルエンザ養鶏農家緊急支援事業費							予算主管課	畜産課	
	事 業 概 要	高病原性鳥インフルエンザ発生により影響を受けた農家に対し、出荷遅延による飼料費増などの経営負担の緩和と発生農家の経営再開に向けた事後対策を実施する							始期	2024	
									終期	2024	
	K P I	支援を受けた農家の経営継続率									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	0 %	目標値	100 %	目標値	%	目標値	%
		実績値	0 %	実績値	0 %	実績値	0 %	実績値	100 %	実績値	%
		ストック /フロー	フロー	達成率	0 %	達成率	0 %	達成率	100 %	達成率	%
		コ ス ト		最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	36106 千円	最終現計 予算額	千円
				決算額	千円	決算額	千円	決算額	2120 千円	決算額	千円
					繰越額	千円	繰越額	千円			
					不用額	33986 千円	不用額	千円			

7 年 度	要因分析	要因								
		総括 影響を受けた農家への支援を実施し、経営継続に寄与することができた。対象農家へ必要な支援が実施されたことから、事業を終了することとする。								
	見直し方向性									

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。